

# 住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第 32 号 8 月 10 日  
 発行 住友化学・住化武田農薬  
 お客様相談室 0570-058-669  
 編集者 古津 昇  
 発行責任者 原 正樹

## 目次

農家さん訪問記	p.1
やさしい農薬の知識 No.19	p.6
りんごの病害虫チョットいい話(6)	p.7
住化アグログループ紹介 レインボー薬品(株)	p.8
農薬あれこれ?なぜなに?コーナー	p.9
今月のお奨め農薬	p.10
農薬登録情報	p.11
病害虫発生情報	p.14
今月のご相談から	p.15
最近の「お・・美味しい!」	p.16
コラム・そば談義	p.17
編集後記	p.17



「もず(モズ科)とハウチワカエデ(かえで科)」技術顧問 富樫作

## 農家さん訪問記

### 若い人にポット柿を広めたい!

今回の農家さん訪問記は、岐阜県本巣(もとす)市からお届けします。岐阜県ポット柿振興会 会長の杉山元伸さん(68)を訪問し、先進的な柿栽培についてお話を伺いました。

#### 「富有柿」は岐阜が発祥の地!



今回訪問した本巣市は岐阜県の南部に位置し、長良川の鶉飼などで有名な岐阜市とは市の南東部分で接しています。

本巣やその周辺地域では以前から柿栽培が盛んで、甘柿で最も生産量が多い品種である「富有柿」は、本巣市に程近い瑞穂市が発祥の地です。平成 17 年の統計では、本巣市の柿の栽培面積は 490 ヘクタール、収穫量が 6,830 トンと、いずれも 2 位の大野町を引き離して県内トップです。本巣市の「市の木」は柿であり、このことから、柿がこの地域の主要な農産物の一つであることがわかります。

## 養豚業から心機一転「ポット柿」に挑戦！

ポット柿とは、簡単に言えば植木鉢で栽培する柿のことです。今回訪問した杉山さんは、そんなポット柿栽培の第一人者です。

杉山さんは就農時から柿栽培に携わり、その経験は50年にもなります。ただ、長い間、杉山さんにとっての本業は養豚であり、柿栽培は主に父親の手伝いで行っていました。そんな杉山さんが、心機一転、ポット柿に本格的に取り組み始めたのは55歳の時です。当時は55歳がサラリーマンの定年であり、そこで区切りをつけようと考えたとのことです。養豚は一年365日休み無しだったので、新たに柿栽培を楽しもうと考え、どうせなら最先端のことに挑戦しようと、52歳の頃から、岐阜大学や試験場などを訪問して、勉強を始めました。当時、岐阜大学の福井博一先生がバイオの柿を精力的に研究しており、必要な水の量や肥料の養分吸収などを科学的に調べていました。それらの知見が、杉山さんの柿栽培の基礎になりました。



次に、先進的な柿栽培として、ハウス栽培の導入を検討しました。そのため、茨城、静岡、愛知（新城、豊橋）など、各地のハウス柿先進農家を訪ねて勉強すると共に、ハウス導入のための調査をしました。ただ、岐阜の気候では冷暖房コストが余分にかかることや、当時はバブルがはじけて資材が高くなる一方、商品には高い値が付けにくかったことなどから、採算が取れないと判断して断念しました。そして、その次に検討したのが、岐阜大学や県の研究センターが研究していたポット柿栽培だったのです。

次に、先進的な柿栽培として、ハウス栽培の導入を検討しました。そのため、茨城、静岡、愛知（新城、豊橋）など、各地のハウス柿先進農家を訪ねて勉強すると共に、ハウス導入のための調査をしました。ただ、岐阜の気候では冷暖房コストが余分にかかることや、当時はバブルがはじけて資材が高くなる一方、商品には高い値が付けにくかったことなどから、採算が取れないと判断して断念しました。そして、その次に検討したのが、岐阜大学や県の研究センターが研究していたポット柿栽培だったのです。

現在、杉山さんは、ポット柿を20アール、露地柿を30アールで栽培しており、これとは別に柿の苗養成圃場を4アール持っています。作業は主にご本人と奥さんの二人で行っていますが、結婚して近くに住んでいる娘さんも手伝ってくれるとのこと。なお、養豚については規模を縮小したものの、現在も続けています。

露地栽培でも様々な工夫で高品質の柿を栽培している杉山さんですが、ここではポット柿についての取り組みを紹介します。

## 画期的な剪定方法を編み出す！



ポット柿栽培では、容量20～40リットルのポット（不織布製）で、樹高1.7～1.8メートルの小さな柿の木を育てます。こんな小さな木で立派な果実が採れるのかと不思議に感じますが、大きくて味の良い最高級の柿が安定して収穫できます。面積当たりの収量も通常の果樹園に比べて同等以上ということですので驚きです。この栽培法には、杉山さんが編み出した様々な創意工夫が詰まっています。

まず、杉山さんは、枝の芽先を摘み取ることで、

通常より早目に枝の成長を止める、画期的な手法を開発しました。この方法を使うと、本来なら枝の成長に使われる貯蔵栄養が蕾に回り、通常は7月頃から始まる花芽分化が春に起こって実が出来るのです。また、枝を短くすることで、下の葉にも十分に光を当てることができ、効率よく光合成させることが出来ます。この技術は多くの人に伝えられて、露地柿やナシなど、他の作物にも応用されています。

次に、ポット柿栽培に欠かせないのが、「根域制限」です。これは、字の通り、作物の根の広がりを制限する手法です。ポット栽培では、ポットの下に不織布のシートを敷いて、根がポットの底から抜け出て地中に入ることを防いでいます。根を鉢の中に閉じ込めることで、細かい根がたくさんでき、養分吸収の効率が上がります。そして、通常栽培よりも美味しい実ができるのです。これは柿に限ったことではなく、ミカン、モモ、ブドウなどでも同じとのこと。



不織布のシートで発根阻止

## 美味しい秘密は海の幸が一杯詰まった培養土！

土は培養土を使用します。組成は、サバ土（砂の多い赤土）3割、ロックウール3割、セコイア（木の皮）3割、パーライトが1割です。ロックウールの代わりに、ピートモスとバーミキュライトを使うことも出来ます。土は途中で入れ替える必要は無く、栽培開始当時から10年以上収穫を続けることが可能です。

地植えと異なり、ポット栽培では水管理が可能であることもポイントです。自動灌水装置を使い、土壤水分を季節に合わせて調節しています。

肥料については、有機肥料にこだわっています。宮崎の肉骨粉（牛以外）、和歌山のイワシの魚粕、磐田の有機肥料専門店から購入するサナギ粕、ボカシコンブなど、出来るだけいろいろな有機肥料をブレンドしています。化学肥料だけでも糖度は同じように上がりますが、有機肥料を使うと、旨み、食感が全く違うと感じています。また、有機肥料の使用は、ブランド品として販売していく上でも有利と考えています。



ミミズも沢山繁殖

タイベックシートと呼ばれる果樹用マルチシートを、柿にいち早く導入したのも杉山さんです。このシートは光をよく反射するため、果実の下側から光が当たって、果実の色づきが良くなります。また、低い位置の果実にも光を十分に当てることができるため、上の果実と下の果実の品質差を小さくすることができます。

ポット栽培のメリットは色々ありますが、まず、わずか3年で、品質・収量共に成園並みの収穫が得られることが

挙げられます。作業面では、脚立が不要であることがポイントで、これにより大幅な効率化



が実現しています。ポットの重量が軽いため、木の入れ替え作業も容易です。農薬についても、樹木が小さいため散布液が少量で済む上、カメムシなどの大型昆虫は防虫ネットで防ぐことができるので、慣行の 1/3 くらいに抑えることができます。そして、日当たり、水分、肥料を徹底的に管理できるため、大玉で糖度が高く、食味の良い柿を安定した収量で栽培することができるのです。収量が計算できることは、経営面でのメリットが大きいと言えます。

## 「ポット柿」の品質向上に技術研修と肥料の共同購入！

杉山さんは「岐阜柿栽培研究会」を立ち上げ、会長を務めてきました。その後、名称を「岐阜県ポット柿振興会」に改め、現在に至っています。名称を変更したのは、柿を売っていく上で、「振興会」の名前のほうが良いと考えたためです。

現在の会員は 14 名で、事務局は「岐阜地域農業改良普及センター」内にあります。毎月勉強会を開催し、岐阜大学の先生や試験場の専門研究員、農薬会社や肥料会社などの社員にも参加してもらっています。



振興会では、全員が同じ品質の柿を出荷することを目標にしています。そのため、杉山さんの技術・ノウハウを公開すると共に、年 2 回の圃場研修や、年 1 回の剪定研修を行っています。また、肥料も共同購入し、同じものを使います。ブランド化のため、振興会の柿は全て共通の箱で出荷しています。ただ、出荷先に対してシーズン中同じ品質を保つために、会員の柿は混ぜずに、各人が一つの市場に出す形を取っています。

病害虫防除では、振興会で防除暦を作って対応しています。慣行栽培に比べて農薬・化学肥料をそれぞれ 30%以上削減した「ぎふクリーン農業」の認定を得ています。露地柿も含めて、「ハマキコン」のような交信かく乱剤も導入しています。ただ、全く防除しないと、ヘタムシのような害虫が増えてしまいます。また、カキノミドリヒメヨコバイもやっかいで、気をつけないといけないそうです。

## 露地柿に比べてコストは同じでも収益が 2 倍！



経営についても少し聞いてみました。ポット柿は通常の露地柿に比べて、単位面積あたりの粗収入は約 2 倍になります。コストは慣行栽培と同程度なので、収益率は高くなります。最大の要因は、品質の良さからくる卸値の高さです。杉山さんの柿は 9 ~ 10 個入りの箱の卸価格が 2,500 円 ~ 3,000 円で、小売では 1 個 500 円もします。通常の共撰では 10kg で 2,000 円 ~ 2,500 円のところ、杉山さんの柿は 3.5kg で 2,000 円くらいになります。なお、杉山さんのポット柿の収量は、10 アール当たり約 8,000 個とのことで、良好な収入が得られていることが見てとれます。

## 鵜飼の船に見立てた Y 字型棚栽培の「鵜船太秋」!

杉山さんは、これまで培ってきた技術・ノウハウを公開しており、これからも多くの人、特に若い農業後継者にポット柿を広めたいと考えています。その一例として、現在、和歌山の農業大学でポット柿栽培に取り組んでいるそうです。今までは、高品質の美味しい柿が作れるまでに何十年もの歳月を要していましたが、杉山さんのノウハウを応用すれば、わずか3年程で目標に到達することが可能なので、若い後継者の皆さんにもドンドン挑戦して欲しいと考えています。



最後に、露地柿での新しい動きを少し紹介します。杉山さんは、一個一個の果実に十分に日が当たるよう独自に工夫した Y 字型の棚栽培を導入しており、今年の秋より、この方法で栽培した太秋柿を「鵜船太秋(うぶねたいしゅう)」という名前で出荷することにしました。この名前は、棚の形を鵜飼の船に見立てて付けました。「鵜船太秋」は大玉で、さくさくした食感の美味しい柿とのこと。ぜひ、賞味してみたいものです!

杉山さんは常に、優れた技術を求めて様々な地域に精力的に足を運び、熱心に勉強し、自らの工夫を加えて新しい技術を生み出してこられました。今回のインタビューでは、ポット柿栽培の素晴らしさと共に、そのことに深く感銘を受けました。

(南、古津)

[目次へ戻る](#)

やさしい農薬の知識 No.19

## - 家庭菜園と「食の安全」 -

時々こんな問合せがあります。

「家庭菜園で野菜を作っています。登録のない作物に農薬を使用してしまったのですが、食べても大丈夫でしょうか？」

肥料や水をやったり防除をしたりして苦労して作物を育てて、病気にもならず虫にも食べられずどうにか収穫間近。食べるのを楽しみにしているのに、間違って農薬を使ってしまったケースです。家庭菜園では、自分で育てた作物を収穫して、それを食べるのが最大の楽しみです。夫婦で家庭菜園をしていてこんなことが起きると、間違って農薬を使用した相手に、「どうしてちゃんと確認しないの。もう食べ頃なのに・・・」と夫婦喧嘩の原因になってしまいそうです。

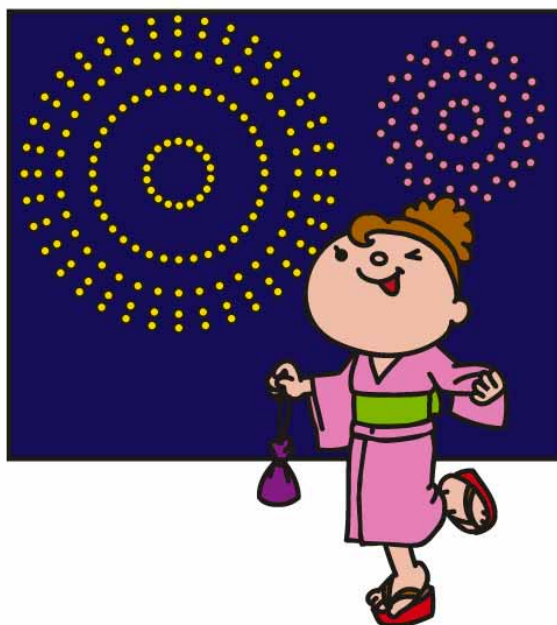
そんな相談のときは、いつ、どんな作物に、どのように農薬を使ったかをよくきいて返事をしていますが、だいたいのケースは次のような回答になってしまいます。

「その農薬は、今回間違って散布した作物と同じような作物の には登録があり、2,000 倍希釈で、収穫の 7 日前まで使用できます。ですから、散布してから 1 週間経てば収穫して、召し上がって頂いても何ら健康に影響することは考えられません。ただし、登録のない作物に使用してしまったので、販売することはできませんので注意してください」

さらに、こう付け加えます。

「お客様もご存知のように、最近では「食の安全」が一層重視され、農薬の使用についてもとても厳しくなっています。プロである農家だけでなく、家庭菜園を楽しむ一般家庭の方も正しい農薬の使用が義務付けられています。農薬を購入するときは、栽培する作物や対象とする虫や病気をよく確認してください。それに栽培している面積に合った包装単位で購入してください。また、ラベルをよく読んで、ラベルに従って農薬を使用してください」

農薬は、登録のある作物に、希釈倍率・使用量、収穫前日数、使用回数を守って使用して下さい。 (原)



[目次へ戻る](#)



## りんごの病害虫チョットいい話 (6)



## 我国では古くて新しい病害「褐斑病」

明治になって日本にりんごが導入された当初はあまり問題になる病害は無かったものの、栽培面積が増えるに従い発生してきた病害の一つに「褐斑病」があります。

本病は主に葉に(多発すると果実にも)不整形の病斑をつくり早期落葉を引き起こし、多発すると樹が丸裸になるほどの被害を出す病害で、文献によると本病の発生が確認されたのは明治36年、東京の農科大学果樹園で発生した被害葉を三宅氏がベルリン王立博物館 Henning 氏に送付し同定依頼し、新病害として *Marsonia mali* P.Henn. として記載されたのが最初でした。その後各地で発生が拡大し、明治44年には青森県で本病により減収したと記録に残っているなど、大正に入った後も各地で褐斑病が多発して早期落葉を引き起こし、収穫時には樹上に葉が見当たらないりんご園が続出したとのことでした。

ここで救世主の登場です。明治40年ごろから農業用殺菌剤として実用化され始めたボルドー液が本病に抜群の効果を発揮することが分かり、各県で防除暦を作成して普及を図った結果、本病の発生は殆ど見られなくなりました。

本病のことが忘れられた昭和45年頃から、秋田県では“ゴールデン・デリシャス”の無袋栽培が本格化し、果面の汚れが無い薬剤への切り替えのため、ボルドー液防除体系を取りやめ有機殺菌剤体系へ切り替えを行いました。数年後、当時発生が多かった斑点落葉病とは異なる病斑を形成し激しい落葉を引き起こす病害が県南を主体に発生し始めました。「褐斑病」が再び甦ってきたのです。

その後各県でボルドー液散布体系を取りやめることと平行し、本病の発生が全国的に問題となり、現在ではりんごの重要病害の一つにカムバックしてきたと言う訳です。

防除上重要と考えられている時期として、以下の4時期が挙げられます。

越冬落葉上から飛散する子のう胞子に対して、開花直前から6月上旬頃に黒星病との同時防除をします。

その後は、7月上旬頃までの子のう胞子及び樹上越冬病斑からの分生胞子に対する予防防除をします。

7月中旬以降の潜在感染しているものに対する治療防除をします。

発生増加期である8月下旬以降の予防治療防除をします。

薬剤は予防効果の高いTPN剤、ジチアノン剤、プロピネブ剤などがあり、治療効果の高い剤としてベノミル剤、チオファネートメチル剤、シプロジニル剤などがあります。

今回は「輪紋病」について触れたいと思います。

(技術顧問水野)



[目次へ戻る](#)

## 住化アグログループ紹介

## レインボー薬品(株)



## 芝生用肥料入り除草剤

## シバキープ®プラス

レインボー薬品には、家庭用非選択性除草剤のトップブランド「ネコソギシリーズ」の他に、家庭用芝生専用除草剤で大きなシェアを占める「シバキープシリーズ」があります。

「シバキープ粒剤」「シバキープAL」はポスト効果(生えてしまった雑草を枯らす効果)の除草剤ですが、この度プレ効果(雑草の発生を抑える効果)を持ち、なおかつ肥料入りの除草剤「シバキーププラス」を新発売する事になりました。

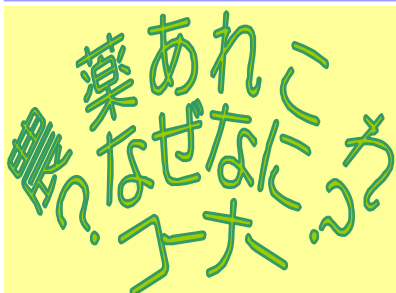
「シバキーププラス」はブタミホス1%とDCBN0.5%の配合により、ブタミホスの弱点であったキク科雑草の発生までも抑える事ができます。また、肥料分として「住化SRコートミニ」の技術を採用、N-P-K-苦土=16.5-5.5-6.5-2.0を配合しております。春先に散布すれば、雑草の発生を防ぎ、なおかつ芝生生育初期から終期まで追肥の必要がありません。

従来のポスト効果の「シバキープシリーズ」に加え、プレ効果の「シバキーププラス」をラインナップすることで、より芝生愛好家の皆様のお役に立てることを願っております。



[目次へ戻る](#)





## 色々な薬剤と混用する場合、それぞれの「希釈倍数」は？

### ご質問

いよいよ夏本番を迎え、夏野菜が食卓を賑わすこの季節・・・我が家でも、そんな夏野菜「トマト」を栽培しています。害虫の退治と病気の予防のため、普段から農薬を使っていますが、散布する手間を省くため、薬剤同士を混ぜてから一度に散布しようと思います。

例えば、御社の殺虫剤プレオフロアブルと、殺菌剤ゲッター水和剤を混ぜて使用することはできますか？また、両方ともそれぞれトマトには「1000 倍希釈で使える」となっていますが、混ぜて使う場合、

それぞれ「1000 倍液」同士で混ぜる(プレオ 1000 倍+ゲッター1000 倍)べきなのか、

「500 倍液」同士を混ぜて 1000 倍の散布液を作る(プレオ 500 倍+ゲッター500 倍)べきなのか迷ってしまいます。どうすればいいでしょうか。



### お答え

薬剤同士を混ぜて使用することを「混用」と言います。これは、どんな薬剤同士でも大丈夫というものではなく、組み合わせによっては、混ぜると沈殿が生じるなど、散布液に問題が起こったり、散布した作物に薬害が生じたりします。

お問い合わせの組み合わせについては、トマトで「混用事例」があります。これは、「混用しても、散布液の物性に問題がなく、作物にも薬害が出なかったという事例がある」という意味です。ただ、あくまで事例ですので、常に問題が無いということを保証するものではありませんので、ご注意ください。

次に、散布液の作り方ですが、考え方としては上記の が正しいということになります。殺虫剤や殺菌剤は、散布液の中の有効成分の濃度が重要です。 の作り方ですと、薬剤に対して水の量が2倍になります。つまり、濃度が規定の半分になってしまうことになります。

ただ、実際は、両方の散布液を作ってから混ぜるのは、作業が大変なので行いません。まず、必要な散布液量に等しい量の水を用意し、それぞれの薬剤の必要量を計算して、順番に溶かしていけば出来上がりです。必要量は、単独で希釈する場合と変わりません。

例) 散布液 10 リットル ( 10 キログラム ) を作る場合

プレオフロアブル : 1000 倍希釈なので、10 リットルの 1/1000 で、10 ミリリットル

ゲッター水和剤 : 1000 倍希釈なので、10 キログラムの 1/1000 で、10 グラム

この方法だと、例えば 1000 倍と 3000 倍のように倍率が違う場合でも、それぞれの薬剤の量は単独で溶かす場合と同じなので、間違える心配はありません。(佐伯、南)

[目次へ戻る](#)

今月のお奨め農薬

## ねぎの害虫について

### ネギハモグリバエとネギアザミウマの防除方法！

ねぎの栽培面積は、夏作と秋冬作を合わせると全国で 16,000 ヘクタールになり、重要害虫であるネギハモグリバエの延防除面積は約 3 万ヘクタール、ネギアザミウマの延防除面積は約 4 万ヘクタールにのびます。

今回は、これらの重要害虫の防除を目的とした、ベストガード粒剤とダントツ粒剤・水溶剤の体系処理をご紹介します。

ネギハモグリバエは、蛹が地中で越冬します。成虫は 5 月頃に現れ、秋までに 5 ~ 6 回世代を繰り返します。葉肉に産卵し、幼虫が食害し、地中で蛹になります。幼虫が葉の表皮にもぐって葉肉を食べるので、葉に白いスジを作ります。被害が多いと生育が低下し、苗では枯死することもあります。

ネギアザミウマは、成虫が草むらで越冬し、年間 10 回以上世代を繰り返します。葉肉に産卵して幼虫が加害をし、根際に下りて蛹になります。成虫と幼虫が葉に寄生し、表層組織を傷つけて吸汁するので、被害葉では色素が抜けた小さな黄白点が生じます。両害虫とも世代の数が多く、色々なステージの虫が混在します。

これらの害虫の防除には、まず、「ベストガード粒剤」を定植時に植溝処理土壌混和します。処理量は 10 アール当り 6 kg で、薬剤は活着したねぎの根から吸収され、ねぎ全体に広がります。残効性も長く、1 ヶ月以上に及び大事な初期生育を守ります。

その後の生育期に土寄せをする際に、「ダントツ粒剤」を 10 アール当り 3 ~ 6 kg 株元に散布します。また、殺菌剤を散布する際にも、同時に「ダントツ水溶剤」を 2000 ~ 4000 倍で散布します。ダントツ剤は粒剤・水溶剤の合計で 4 回まで使用が出来、いずれも収穫 3 日前まで使用できます。ネギハモグリバエとネギアザミウマの防除はこれで十分です。

なお、最近発生が多く被害も大きいシロイチモジヨトウには、プレオフロアブルが高い効果を示しますので、ローテーション防除でご使用ください。 ( 富樫 )



ネギハモグリバエ被害葉



ネギアザミウマ被害葉

[目次へ戻る](#)

**農薬登録情報**

&lt; 7月18日と8月1日にあった適用拡大の内容です &gt;

**適用拡大**

粘着くん水剤が適用拡大！！除草剤への適用拡大も続々認可！！

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名/ 使用目的	使用量ほか	
殺虫剤	DDVP浮剤	作物追加	みずな	キスジノミムシ	1000倍	収穫3日前まで 2回以内 散布
	粘着くん水剤	作物名変更	果樹類(かんきつを除く) りんご・なし・いちじく を変更	アラムシ類 ハダニ類	500倍 200~700L/10a	収穫前日まで 散布 使用回数： 6回「-」制限 なしに変更！
		作物追加	まめ科雑草	マメアラムシ	500倍 150~300L/10a	
除草剤	イッテツ1キログ粒剤	右記	移植水稻	適用雑草追加： ・オモダカ（関東・東山・東海） ・クログワイ（東北、関東・東山・東海、近畿・中国・四国） ・コウキヤガラ（関東・東山・東海） 「全域の普通期及び早期栽培地帯」での使用時期変更：移植後5日～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで 「全域の普通期及び早期栽培地帯」での適用土壌変更：砂壤土～埴土		
		作物追加	直播水稻	対象：水田一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ		
	イッテツフロアブル	右記	移植水稻	以下の地域における適用雑草追加： ・近畿・中国・四国：クログワイ ・関東・東山・東海：コウキヤガラ 「全域の普通期及び早期栽培地帯」での使用時期変更：移植後5日～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで		
		作物追加	直播水稻	対象：水田一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ		



除草剤	イッテツジャンボ	右記	移植水稻	<p>適用雑草追加：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シズイ（東北）</li> <li>・オモダカ（関東・東山・東海）</li> <li>・クログワイ（東北、関東・東山・東海、近畿・中国・四国）</li> </ul> <p>「全域の普通期及び早期栽培地帯」での使用時期変更：移植後5日～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで</p> <p>「全域の普通期及び早期栽培地帯」での適用土壌変更：砂壤土～埴土</p>
		作物追加	直播水稻	対象：水田一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、セリ
	ゴヨウダジャンボ	右記	移植水稻	<p>適用雑草追加：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クログワイ（東北、関東・東山・東海、近畿・中国・四国）</li> </ul> <p>「全域の普通期及び早期栽培地帯」での使用時期変更：移植後3日～ノビエ2葉期 ただし、移植後30日まで</p>
	ショウリョクジャンボ	右記	移植水稻	<p>適用地帯追加：近畿・中国・四国（適用土壌：壤土～埴土）</p> <p>使用時期変更：移植直後～ノビエ2葉期 ただし、移植後30日まで</p>
	スピフロアブル	右記	移植水稻	<p>使用時期変更：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道：移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで</li> <li>・全域（北海道を除く）の普通期及び早期栽培地帯：植代後～移植前4日又は移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで</li> </ul>
	テイクオフ粒剤	右記	移植水稻	<p>適用地帯追加：関東・東山・東海の早期栽培地帯</p> <p>使用時期変更：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道、東北、北陸、九州の普通期栽培地帯：移植後10～15日</li> <li>・関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯、近畿・中国・四国の普通期栽培地帯：移植後10～25日</li> </ul>

除草剤	ドニチS1キログラム 粒剤	右記	移植水稻	適用雑草追加： ・シズイ（東北） ・クログワイ（東北、関東・東山・東海） 「全域の普通期及び早期栽培地帯」での使用時期変更：移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで			
		作物追加	直播水稻	対象：水田一年生雑草、マツパイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、セリ			
	ヨシキタ1キログラム 粒剤	右記	移植水稻	「全域の普通期及び早期栽培地帯」での使用時期変更：移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで 「全域の普通期及び早期栽培地帯」での適用土壌変更：砂壤土～埴土			
	ヨシキタフロアブル	右記	移植水稻	「全域の普通期及び早期栽培地帯」での使用時期変更：移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで 「全域の普通期及び早期栽培地帯」での適用土壌変更：砂壤土～埴土			
植調剤	ST ジベラ錠	作物追加	野菜類	発芽促進	ジベレリン 50～200ppm	は種前 1回種子浸漬	
		作物名変更	花き類 (難発芽種子) 「花き類」	発芽促進	ジベレリン 50～200ppm	は種前 1回種子浸漬	
		使用時期 使用方法	かんきつ (温州みかん、伊予柑、不知火、サガ、マンダリン、ぼんかん)	使用目的「落果防止」 使用時期変更：開花始め～満開10日後 使用方法変更：散布			
		使用濃度 使用回数	きく	使用濃度変更：ジベレリン 25～100ppm 使用回数変更：2回以内			

(佐伯・南)

[目次へ戻る](#)

## 病害虫発生情報

8月初めに各県から出された病害虫注意報・特殊報から、主要なものをお知らせします。

**注意報**(8月1日)鹿児島県/普通期水稻/コブノメイガ：  
スミチオン粉剤3DL、パダンSG水溶剤、パダン粉剤DL、  
パダン粒剤4、パダンバッサ粉剤DL、パダンバッサ粒剤、  
パダンミプシン粒剤など。

**注意報**(8月1日)広島県/水稻/コブノメイガ：スミチオン粉剤3DL、  
パダンSG水溶剤、パダン粉剤DL、パダン粒剤4、  
パダンバッサ粉剤DL、パダンバッサ粒剤、  
パダンミプシン粒剤など。

**注意報**(8月1日)福岡県/イチゴ/炭疽病：ゲッター水和剤、ベンレート水和剤

**注意報**(8月2日)愛媛県/水稻(短期・普通期)/コブノメイガ：  
スミチオン粉剤3DL、パダンSG水溶剤、パダン粉剤DL、  
パダン粒剤4、パダンバッサ粉剤DL、パダンバッサ粒剤、  
パダンミプシン粒剤など。

**注意報**(8月2日)長野県/水稻/イネいもち病(穂いも)：  
デラウスフロアブル、ブラシンフロアブル、ブラシン水和剤、  
ブラシン粉剤DLなど。

**注意報**(8月2日)兵庫県/水稻/斑点米カメムシ類(クモヘリカメムシ、  
アカスジカスミカメ等)：スミチオン乳剤、スミチオン粉剤3DL、  
ダントツ水溶剤、ダントツH粉剤DLなど。

**注意報**(8月3日)宮崎県/普通期水稻/トビロウンカ、コブノメイガ：  
アブロードパダン粒剤、スミチオン粉剤3DL、  
パダントレボン粉剤DL、パダントレボン粒剤L、  
パダンバッサ粒剤、MR・ジョーカーEW、ルーバンM粒剤など。

**注意報**(8月3日)広島県/水稻/コブノメイガ：スミチオン粉剤3DL、  
パダンSG水溶剤、パダン粉剤DL、パダン粒剤4、  
パダンバッサ粉剤DL、パダンバッサ粒剤、  
パダンミプシン粒剤など。

**注意報**(8月3日)千葉県/トマト、ミニトマト/トマト黄化葉巻病/タバココナジラミが媒介するウイルス病：  
スミロディー乳剤、ダントツ水溶剤、ダントツ粒剤、  
粘着くん液剤、ベストガード水溶剤、ベストガード粒剤など。

**注意報**(8月6日)宮城県/水稻/斑点米カメムシ類：スミチオン乳剤、  
スミチオン粉剤3DL、ダントツ水溶剤、ダントツH粉剤DLなど。  
(鈴木)

\* 農薬は弊社剤をご紹介します。



コブノメイガ



炭疽病



トビロウンカ



タバココナジラミ

[目次へ戻る](#)



## 今月のご相談から

# 水稻のいもち病はブラシン剤で！

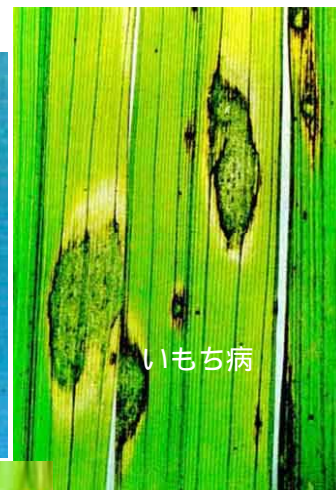
**Q** いもち病防除で雨の影響の少ない薬剤はありますか？

**A** 水稻栽培では、8月は一気に出穂期を迎えるため、病害虫防除の最も大切な時期です。中でもいもち病が最も重要で、品質・収穫量に大きく影響します。

いもち病は、前年に収穫した保菌種籾から苗いもちが発病し、次いで葉いもち、穂いもちと、初発生の病斑で出来た胞子が飛散して感染が広がります。葉の上に飛散してきた胞子は、8時間以上に渡って水滴が乾かない条件下でしか、発芽・付着器形成・稲体侵入を起こせません。従って、低温で曇雨天が続き、稲の生育や抵抗力が弱まった時に8時間以上水滴が乾かない条件が再三現れると、次々と感染し、広域にいもち病が発生します。これを防ごうと、雨の多い時期に農薬を散布しても、降雨により薬剤が流失して効果が出ず、被害が拡大してしまいます。

ブラシン剤はフェリムゾンとフサライドとの混合剤で、いもち病とごま葉枯病にはもちろん、品質に影響を及ぼす穂枯れ性の変色米、すじ葉枯病、褐変穂、紅変米、稲こうじ病や、バクテリア病害の内穎褐変病、褐条病、もみ枯細菌病にも効果のある薬剤です。

稲体への浸透が極めて速やかに行われますので、散布後の降雨による効果の減少が少なく、安定した効果を発揮します。降雨の影響を調べる試験において、他のいもち剤の効果が散布後2～4時間後の降雨で大きく低下する中で、フェリムゾンの効果は、30分後の降雨でもほとんど低下しませんでした。この性質から、多発条件下で降雨の多い環境でのいもち病防除には、耐雨性の高いブラシン剤が最も適していると言えます。雨の多い時は、雨と雨の間のわずかにやんでいる時を狙って散布をしてください。（富樫）



[目次へ戻る](#)

# 最近の「お・・美味しい!!」

## 外でビールは最高!!

弊社相談室紅一点!の佐伯がお送りします  
最近の「お・・美味しい!!」  
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、  
毎月「これぞ!」というものを紹介します。  
どうぞお楽しみに♪♪

夏真っ盛りですね。この暑い時期、もっと熱くなる場所があります。

それは「真夏の祭典 ロックフェス」!! この数日にわたって開催される大規模な野外コンサートに今年も行ってきました。このフェスでは今をときめくアーティストが目白押しで、ただでさえ楽しいのですが、私にはお目当てがもう一つあります。観客15万人とも言われるハラペコ達の胃袋を満たす「フード屋台」です。魅力的な屋台が乱立するなか、私のお気に入り、会場となる茨城県(ひたちなか)の地の野菜やお肉、お魚を使った料理を提供してくれる「湊屋」さんです。

毎年必ず食べるのは地元の漁協提供の「メヒカリのから揚げ」。今年はおまけで味噌のついたきゅうりと、シシリアンルーージュというミニトマトもいただきました。五浦八ムも食べたかったのですが、いつも大人気で今年も断念。その代り、地元の夏野菜と豚を使った「夏野菜カツカレー」を堪能。味が濃くどれも美味しいこと。そしてなにより、



メヒカリはまるごと食す!

野外という開放感で飲むビールと合う合う(笑)。

他にも一口アワビや、納豆丼、メロンをまるごと使ったジュースなど茨城県の美味しいものが大集合していました。あー楽しかった(美味しかった)!今から、来年が楽しみです!

(佐伯)



野外でのカレーとビール(最高!!)

[目次へ戻る](#)

### コラム・そば談義

ルチンという成分がそばに含まれているが、そのルチンを 100 倍も含んでいるのが韃靼そば（苦蕎麦）である。

この韃靼という言葉が妙に気になり辞書で調べてみた。韃靼とはタタールと云う中央アジアの民族名である。漢民族はタタール人のことを韃靼（中国で韃靼は差別表現）と呼び、日本も中国との交易によりそのように呼んでいた。そこで、図書館から司馬遼太郎著「韃靼疾風録」を借りて読む。その中に女真（じょしん）人が出てくる。女真（古称）とは、満洲（マンジュ）、蔑称は満韃子（マンダーツ）と言い、当時の満洲国は北と東はアムール川とウスリー川を隔て東シベリア地方まで、南は朝鮮半島、西はモンゴル高原に接していた。また、南西は万里の長城の東端にあたる山海関（漢人はこの関を隔てて内側を中華圏とし、これより外は関外の地と呼称した）までの広さがあった。

当時、この地域に住む女真人は豊かな森林を利用して狩猟や焼畑などで暮らしていたが、中国や朝鮮の稲作圏の人々からは、文化水準の低い、野蛮な国として蔑まれていた。しかし、時代は移り、16 世紀末に現れた女真人のヌルハチが満洲部族を統一し、その息子のホンタイジがモンゴルのチャハル部族を下して元の\*玉璽（ぎょくじ）を手に入れる。そして、漢字では蔑称のニュアンスをもつ女真の民族名を嫌って満州族と改め、翌年に民族名の変更に伴って国号も「清朝（清）」とした。第三代皇帝順治帝が初代清朝の皇帝となり 1912 年まで中国全土を支配することになる。《ラストエンペラーで有名》

さて、韃靼そばに話を戻すと、栽培は高度 2000 メートル以上の山岳地帯（中国雲南省、四川省、チベット自治区、内モンゴル地区、ネパールなど）で、主産地は雲南省の高原地帯である。ここに住む少数民族の彝族（いぞく）が、このそばを主食にしている。そのために生活習慣病の発生率が低く、長寿で健康な人が多い。因みに、韃靼そばに含まれるルチンは、フラボノイドの一種であり、毛細血管強化作用を持ち、高血圧などの疾病にも有効である。しかし、子実にはルチン分解酵素も多く、粉への加水で急速に分解して苦み成分のケルセチンを生成する。この独特の苦みのために、「ニガソバ」とも呼ばれている。

韃靼そばから、中国大陸の壮大な歴史に少し触れたような気分がする。そして、そば屋でこのほろ苦い「韃靼そば」を口に含んで目を閉じると、モンゴルの大草原を吹く風を頬に受け、颯爽と馬で駆けている己の姿を想像するのである。しかし、それもつかぬ間のこと、暑い東京での生活に日々汲々としている自分にすぐに戻るのである。しかし、お客様と電話対応の間だけでも、大草原を颯爽と駆けている気分で、爽やかに受け答えをしたいのだが・・・（古津）

\*玉璽：皇帝の用いる璽（印章）のこと

### 編集後記

今夏は、中国大陸からコブノメイガが九州地方によく飛来する。

中国から飛んで来て欲しくないものが、もう一つある。それは、日本海側に最近よく発生する光化学スモッグである。気象衛星からみると中国で発生したものが気流に乗って北陸から関東北部にまで到達しているとのこと。やはり、中国は近い国なのである。北京オリンピックを翌年に控え、インフラの整備が急ピッチで進められている。東京オリンピックが開催された当時の日本とよく似ている。その時代、日本で発生した光化学スモッグは海を越えてどこへ行ったのだろうか？



[目次へ戻る](#)